



報告

図書館の友だちになるう

協働し提案もする利用者

けやき設立15周年の年に
図書館友の会 全国連絡会総会に参加して

けやき会員 永井 麻里

図書館友の会って何？

1999年6月、新築される京都市左京図書館への要望活動を行っていた「新左京図書館を考える会」の活動を、図書館オープン後も発展的に継承すべく、新たな仲間も加わって「図書館友の会けやき」が発足した。当時は「図書館友の会って、一体なにをするの？」といぶかる人も少なからずいたが、私はいつも大阪府茨木市の「図書館友の会 会報」の会報で出会ったこの言葉で応えていた。

もし、あなたが現在の図書館サービスに満足しているのなら、それに感謝して、友の会に入会しませんか。

もし、図書館に何かを付け加えたり改善しようとお望みなら、その提案を携え、友の会に入会しませんか。

アメリカ・フロリダ・デイトナビーチ
ロシア図書館友の会 会報より

他の図書館友の会会報の二重引用になるが、けやきが目指す図書館友の会の活動を、実にうまく言い表している言葉だと思ったのである。

けやきからの情報発信15年を期に ホームページを開設

けやきが、この「図書館と協働し、図書館に提案する」活動を曲がりながらも継続して、あっという間に15年が過ぎた。会員は、15年のあいだに出入りはあったが現在約90名。このニュースレターは、けやきの活

動報告だけに止まらず、左京図書館や京都市図書館全体について、さらには本や図書館全般についての情報を発信する場として、また、けやきの京都市図書館への提案を広く伝える場として位置づけ、みんなで力を合わせて作成してきた。今号で45号、毎号約900部印刷し、多くの方に読んでいただいている。

手前味噌ながら過去のニュースレターもぜひ多くの方に読んでいただきたいと思い、けやきニュースレターのバックナンバーを閲覧できるホームページを、6月に開設した。21世紀に入ってから京都市図書館の動きや日本の公共図書館のトレンドを辿り、これからの図書館を考える手がかりのひとつになればと願っている。

図書館友の会のネットワーク

はじめの10年余りは、事務局みみなで頭をつき合わせて相談し、手探りで試行錯誤を繰り返しながらの活動であった。しかし、地方自治体の財政状況が悪化し公共図書館への風当たりが日々厳しくなっていく中、日本各地の他の図書館友の会の活動に学ぶ必要性を感じて、2012年春に、全国の図書館友の会の連合体である図書館友の会全国連絡会、略称・図友連（とともれん）に入会した。

図友連は2004年に発足し、現在の会員は77団体と個人会員108名。2009年には「私たちの図書館宣言」を決議。会員間の交流・学習だけでなく文部科学省や総務省・自治体などへの図書館に関わる要望活動も行っている。図書館それぞれの事情は地域性や独自性のあるものもあるが、日本の公共図書館が共通して抱える問題も

多々あり、図書館への指定管理者制度導入や書店と一体化した公共図書館の是非などを考えるにあたり、図友連のネットワークを通じて貴重な情報を多数得ることができ、とても参考になった。

全国の「図書館の友だち」と学び、交流

その図友連の総会が今年は大阪で開かれることになり、初めて参加することができた。5月17日は、朝から学習会、総会、交流会、そして夜の懇親会まで、まる一日の参加、翌18日は大阪府立中央図書館・国際児童文学館の見学会に参加した。この他16日には大阪府立中之島図書館と国会図書館関西館の見学会があった。

北は北海道登別から南は沖縄までの多くの図書館友の会活動の先輩方や仲間と直接接することができて、“目から鱗”の様々な学びがあっただけでなく、みなさんの溢れんばかりの熱意に刺激を受け、励まされた。

学習会のテーマは「ビッグデータってなに？ービッグデータ時代のプライバシー保護」で、講師は高木浩光氏（産業技術総合研究所主任研究員）。現在は、ニュースレター43号で紹介した武雄市図書館の場合のように、図書館もビッグデータ集積の場となり、その情報が拡散してプライバシーが侵される可能性に晒されている。インターネットの一サイト上に登録した個人情報などは現行の日本の法律では合法的に拡散可能であることや、医療

情報のビッグデータの功罪など、非常に興味深くかつ考えさせられる例が次々と語られた。図友連のホームページで動画を公開しているので、関心のある方はぜひご覧下さい。

午後には総会と交流会が開かれたが、全国から33団体・会員の総数44名が出席した。交流会では全員の報告を聴き、会報やパンフレット等の資料も多数入手できた。何より、休憩時や懇親会、翌日の図書館見学後の食事の折などに、日頃図友連のメールで貴重な情報や意見を寄せてくださっている方々とじっくりお話しでき、深い知識だけでなく豊かなお人柄に触れることができたのが、うれしかった。今後も、遠出することはなかなか難しいと思うが、いろいろな機会を捉えて、図書館のこと、図書館友の会のことを学び、けやきの活動に反映させたいと思う。

あなたも「図書館の友だち」に

「図書館と友だちになる」図書館友の会の活動は、図書館の本とも、さらに、活動仲間とも、深い友人関係を築いてくれる。あなたも、けやきに入会して「図書館の友だち」になりませんか。

図書館友の会けやき <http://www.keyaki-kyotocity.com>

図書館友の会全国連絡会 <http://totomoren.net>

私たちの図書館宣言

図書館は人類の叡智の宝庫です。読み、調べ、学び、交流し、必要な情報が得られる教育機関として、私たちの自立と地域社会の発展になくてはならない施設です。私たちは、ここに図書館のあるべき姿を掲げます。

- 一 知る自由と学ぶ権利を保障する図書館
- 二 いつでも、どこでも、誰でも、身近に無料で利用できる図書館
- 三 資料・情報が豊富に収集・整理・保存・提供されている図書館
- 四 司書職制度が確立され、経験を積んだ館長と職員がいる図書館
- 五 利用者のプライバシーを守る図書館
- 六 情報公開と民意に基づく図書館協議会が機能する図書館
- 七 教育委員会の責任で設置し、直接管理運営される図書館

私たちは、この実現のために、図書館を支え、守り、すべての人と手をつなぎ、図書館とともに成長することを宣言します。

図書館友の会全国連絡会2009.5.25 総会決議 2012.5.22 総会改訂

Copy Right ©図書館友の会全国連絡会All Rights

図書館友の会全国連絡会ホームページ (<http://totomoren.net>) より引用

TOPICS

左京図書館

子ども読書の日記念事業から

おたのしみ会

4月19日

4月19日午前11時より「子ども読書の日記念事業」の行事として、おたのしみ会が開催されました。

会場の左京図書館階上の3階会議室には大勢の親子連れが集まり、紙芝居、大型絵本、パネルシアター、影絵の多彩なプログラムを楽しみました。

上方落語の紙芝居「うなぎにきいて」のよみ手は、左京図書館の絵本コーナーで司書さんにスカウトされた！お父さんです。軽妙な語り口に引き込まれ、会場に笑い声があがりました。次に修学院、錦林、養正保育所の先生達による手遊び、大型絵本「もりのおふろ」、パネルシアター「シャボン玉とばせ」がされ、日頃馴染みのある先生の出演に子どもたちは大喜びでした。

最後に、錦林小学校図書ボランティア「おはなしパレット」のメンバーが影絵「お月さまってどんなあじ？」をされました。スクリーンに写しだされるお月さまや動物たちの幻想的な影絵の世界を、子どもも大人もたっぷり楽しみました。
(奥坂)



表紙を見せて絵本が勢揃いした「えほんのひろばinきょうと」

えほんのひろば in きょうと

4月19日・20日

「えほんのひろば」は、奈良のえほん研究家加藤啓子さんが各地に広めておられる企画です。子ども読書の日記念事業の一つとして、2010年から左京図書館で行われてきたこの催しは、今年で5回目となり、2日間計7時間開催されました。図書館の上の階にある大会議室いっばいに、けやきと司書さんお勧めの約350冊もの絵本の勢ぞろいです。ダンボール製の手作り面展台を使って、全て表紙が見える平置きで並べられています。

来場者は、椅子やマットの上、お母さんお父さんの膝などに座り込んで、三々五々自由に絵本を手に取り、ゆったりした時間を楽しみました。けやきや絵本学習会のメンバーがスタッフとなって常時待機しており、子どもたちのリクエストに応じて何冊でも絵本を読んであげています。

今年度の特別企画として、絵本学習会の選書による震災・原発事故関連の絵本も並べました。

一日目の午前には「えいごえほん&うた」のイベント、両日の午後には、展示絵本を紹介するブックトークも行い、充実した内容となりました。

しかし、イベントのみの参加者が多く、「えほんのひろば」への来場者数はあまり増えませんでした。表紙を見ながらたくさん絵本に出会えるせっかくの機会を楽しんで頂けるよう、今後の課題として、絵本リストの見直し・会場の選定など、再検討すべきだと話し合いました。
(伊藤)

けやきの活動 2014年4月～7月

- 4/25 ニュースレター44号、総会・図書館懇談会・ボランティア交流会の案内、活動報告を印刷・発送
- 5/17 図書館友の会全国連絡会 学習会・総会・交流会・懇親会に参加 (永井)
- 5/18 図書館友の会全国連絡会 大阪府立中央図書館・国際児童文学館見学会に参加 (永井)
- 5/31 左京合同福祉センター15周年記念事業「あかりまつり」に協力
- 6/月上旬～ ニュースレター45号原稿作成・編集
- 6/7 けやき15周年記念系あやつり人形制作ワークショップを開催
- 6/9 第16回定期総会、第10回図書館懇談会、第2回ボランティア交流会を開催
- 6/16 左京区ボランティア連絡会出席 (増井)
- 7/23 ニュースレター45号印刷・発送
- 7/末～ 「読み聞かせ」交流会に向けて図書館と打ち合わせ、資料作成・印刷

<図書館おたのしみ会に協力> (第4土曜) 5/24.6/28.7/26.

<絵本学習会> (第4金曜日、3.7.9月は第2金曜日) 5/23.6/27.7/11.

<事務局会議><図書館とのミーティング> (主に第1月曜) 5/8.6/2.7/7.23.

<「赤ちゃん絵本ふれあいタイム」サポーター活動> (毎週木曜日10:30-12:00)

5/1.8.15.22.29. 6/5.12.19.26. 7/3.10.17.24.



2014年度
活動テーマ

全国の図書館に関わる情報を収集しつつ、
京都の図書館が利用者にとって一層素晴らしいものとなるよう、
協力・要望活動をおこなう

図書館友の会けやき総会・図書館懇談会とボランティア交流会 2014年6月9日

2014年度けやき総会

6月9日、会員13名と、来賓として古川左京図書館館長と吉田左京区社協事務局長にお越しいただき、総会を開催しました。

古川館長より「15年間のけやきの活躍に敬意を表し、図書館への支援協力を感謝している。図書館の開館時間が増えたことを広く知らせながら、図書館へ行ってみたいと思うような取り組みをしたい」と挨拶があり、吉田事務局長からは、合同福祉センター15周年あかりまつりは多くの方に喜んでいただき、けやきの協力に感謝している、センターも15年経過し、設備等更新の時期に来ていることなどのお話がありました。

その後、2013年度の活動報告、会計報告が承認。「赤ちゃんに絵本を」サポーター活動の行事名を「赤ちゃん

絵本ふれあいタイム」とするという報告もありました。会の運営状況として、会費納入が減っていること、事務局に新しい人に入ってほしいという要望が出ていることなど、課題も挙りました。

また、けやきのホームページ (<http://www.keyaki-kyotocity.com>) ができたことと関連して、ニュースレターけやきのバックナンバーが閲覧可能となり、そのためのセキュリティなど維持費用を含む予算案が承認されました。

今年度の活動方針については、「全国の図書館に関わる情報を収集しつつ、京都の図書館が利用者にとって一層素晴らしいものとなるよう、協力・要望活動をおこなう」をテーマとすることが提案、承認されました。

第10回 図書館懇談会

今年も総会の後、古川左京図書館長と延末司書を交えて懇談する時間をもちました。

まず館長から開館時間が増えたことについての以下のような変更の報告がありました。

- ・2014年4月から休館日が毎週火曜日のみに
- ・6月からは朝9時30分開館に

館内での飲食のうち、ペットボトルでの飲み物は可能になりました(飲み終わったらしまうこと)。

私たち利用者にとっては、少しでも涼しい時間帯に行き、水分補給のために館外へ出たりせずじっくり本選びができる、など歓迎する方向に変わっています。

その一方で、予算や職員数に変化はありません。

左京図書館の昨年度の入館者数は約23万7千人、貸出冊数は48万9千冊と、地域館の中では常にトップクラス、左京図書館受け取りのインターネット予約に関しては右京中央図書館に次いで多いというお話でした。職員の方々の業務の多さを想像すると大変なことだろうと思います。その中で職員同士でアイデアを出し合い、地域の幅広い層の人が利用し易く活気ある図書館を目指して工夫を凝らして下さっていることも話の端々から感じられ

ました。

例えば、図書館に入っすぐ右側に以前からある地域情報スペースの他に、右奥(新聞雑誌コーナーの横)には行政関係及び各種団体の広報誌のスペースが加わりました。これは職員の方が以前から集めておられたものを利用者に活用してもらおうと、展示するために工夫されています。ぜひご活用ください。また、貸出を待っている間、目に触れる場所に気軽に手に取ってもらえる本を集めたコーナーができるそうです。(これは他館で好評を得ている取り組みを参考にして、職員さんが工夫された『+1(プラスワン)』コーナーです。7月14日に新設されました)。

他館から異動で左京図書館に来られた司書の方は、利用者の活気を感じられた、と話しておられました。館長を始めとする職員の皆さんの関係があって、生き生きとした図書館が出来ていくのだと感じます。

そこに私たち利用者も加わって、地域に密着し、より充実した図書館になっていけたらいいな、と感じた懇談会でした。

最後に今年度今後の左京図書館主催企画についての予告

もありました。

9月13日（土）…下鴨中学吹奏楽演奏会

10月…押し花の作品展

企画月は未定ですが、開館15周年記念行事第2弾、老人福祉センターで活動している方の作品展などを予定されているとのことです。

第2回 左京図書館ボランティア交流会

昨年に続き本年も左京図書館で活動するボランティアの方々の交流会が開かれました。

けやきの総会・図書館懇談会の後、古川館長、左京図書館の図書館ボランティア2名とけやきに関わるボランティア13名が参加し、それぞれの活動を紹介し和やかな雰囲気の中意見交換をしました。

同じ図書館でのボランティアといっても、気になることや思っていることはそれぞれに違っていることや、左京図書館の図書館ボランティアの方々がけやき主催や共催の図書館行事に参加してくださっていたり、興味を持って見てくださっていることを知りました。参加者のそれぞれの意見を聞いているうちに、ボランティア活動は自身の充実感を得ることの他に、活動を通して図書館全体を見わたして、司書さんや利用者とは違った立場から、図書館について考えることができるのだと思いました。

まずお互いのことを知り、言葉を交わすことから始まり、

交流が深まることが大切だと思います。それにはやはり、年に一度であっても、ボランティア同士が交流することの意義は大きいと考えます。交流会が今後も開かれ、参加者が増えていくことを期待しています。

(以上報告：けやき事務局)

京都市図書館の

図書館ボランティアとは

京都市図書館では随時募集しており、活動希望の図書館に申し込み、研修受講後、書架整理等の活動を行う。左京図書館では現在19名のボランティアが活動している。

また、左京図書館では、図書館の下1階にある左京老人福祉センター利用者の希望者が、月1回開館前の1時間程度、書架整理のボランティアを行っている。

けやきの

本棚 45

私の

おすすめの
本

くまのパディントン

マイケル・ボンド作 ペギー・フォートナム絵
松岡享子訳 福音館書店 1967年

主人公のパディントンは、いろいろな問題をおこしますが、最後にはそれが解決するのでふしぎです。パディントンはよくかんちがいをします。たとえば「ロシア」を「卸し屋」と聞きまちがえます。そんなかれを、こっとうひんやのグルーパーさんたちが見守ります。パディントンはリマからロンドンにひっこしてきて、正解だと思います。

(小2・澤田権)

恐山 死者のいる場所

南直哉著 新潮新書 新潮社 2012年

一昨年の春、私は実母を看取りました。それをうまく受け止められず、何か心もとなく日々を過ごしていた時、偶然つけたBSの番組に著者が出演していて、その明快な話しぶりに、私はスッと引き込まれ、本書を探しました。

「人は死んでも、関係性は消えない」「一番の供養は、死者を想い出すことである」等々、本書を読む中で、改めて気づき、カチッと音を立てて心の焦点が合った気持ちになりました。

(けやき会員・HK)

配達あかずきん 成風堂書店事件メモ

大崎梢著 東京創元社 2006年

舞台は、どこにでもありそうな駅ビルの本屋さん。しっかり者の書店員・杏子さんと、日常業務はイマイチだけ勤の良さはピカイチな学生アルバイトの多絵ちゃんが、本屋で起こる「日常の謎」的な事件を解決していくミステリ連作短編集。書店業務の裏側も垣間見える。日頃よく本屋さんにお世話になる人には、特にオススメ。

(左京図書館・長谷川志乃)

陶淵明と白楽天

生きる喜びをうたい続けた詩人

下定雅弘著 角川選書 角川学芸出版 2012年

高校の古典の時間に覚えた漢詩の一節が今でもときどき思いだされることがあります。その中には陶淵明もあり、これまで関連の本を読みましたが、この本は従来のものとは違っています。故郷に帰って陶淵明がどんな生活をして、どんなことに喜び、何に幸せを感じ、何に苦勞したか、といういわば「生活する」陶淵明とでもいえそうな視点から書かれています。千年以上の時間を隔てた陶淵明がとても身近に感じられる本です。また同じ著者の「精選 漢詩集」(ちくま新書)とともにオススメです。

(左京区・石川三郎)

□左京南支部小学校ボランティア 読み聞かせ交流会

- 第1回 9月30日(火)「えほんたいけん・えほんたんけん」講師 中川あゆみさん
 第2回 10月9日(木)「やってみよう 読み聞かせ」 講師 左京図書館司書さん
 「科学の本のブックトーク」 講師 島崎真紀子さん
 第3回 10月14日(火) 小グループに分かれて絵本の読み語り実践交流
 *いずれも午前10~12時、左京合同福祉センター3階(左京図書館の上)大会議室にて
 *絵本の読み語りを始められたばかりの方も、ベテランの方も楽しく交流しましょう。

*第1回と第2回は左京図書館絵本入門講座でもあります。
 左京区南部の小学校以外で活動されている方や活動はしていないが絵本に興味関心がある方も、ぜひご参加下さい。
 *事前申し込み不要
 *問い合わせ
 京都市左京図書館 075-722-4032

◆図書館友の会 けやき の仲間になりませんか◆

知りたい、調べたい、本の世界を楽しみたい
 そんな私たちの望みをかなえ、

一人一人の世界を豊かにしてくれる場所
 それが私たちの願う図書館です

左京図書館が今後もこのような市民みんなの図書館としていきいきとあり続けるために、私たち市民利用者は何が出来るのか考え、活動したいと1999年に「けやき」を立ち上げました。

図書館のスタッフとともに、左京図書館はじめ京都市図書館を支え、育てていきませんか。

次のような活動をおこなっています

であいの森

左京図書館のおたのしみ会(毎月第4土曜日11:00)に協力。
 絵本を読んだり、ブックトーク・人形劇やおはなしも。

「赤ちゃん絵本ふれあいタイム」サポーター

毎週木曜日10:30~12:00、左京図書館絵本コーナーで絵本探しのお手伝いをしたり、絵本を読んだりしています。

誰もが利用できる図書館を考える

図書館の現状を調べ学び、図書館に提案をしています。

ニュースレター編集部

友の会のニュースレター「けやき」を作成し、図書館と利用者をつなぐけやきの活動の情報を発信しています。

事務局

けやきの活動の企画提案。図書館行事に企画・協力。各グループ間や左京図書館との連絡調整を行っています。

絵本学習会

毎月第4金曜日10:00~。取り上げた絵本をみんなで読み合い語り合う楽しい学習会です。

講演会・学習会

主催または図書館との共催で年に数回、地元の講師を中心に様々な興味深い講演会・学習会を行っています。

◆入会希望の方は、年会費500円をそえ

下記事務局または郵便振込口座にお申し込みください。

事務局 京都市左京区高野東開町1-23 26-101 永井方

TEL/FAX 075-721-2625

郵便振込口座 口座番号 00920-8-156914番

口座名称 図書館友の会 けやき

◎ゆうちょ銀行の口座をお持ちの場合、口座間振替で無料で送金できます。

年会費はニュースレターの印刷および郵送費の一部に充当します。

◆活動費のカンパも歓迎。直接又は上記の振込口座をご利用下さい。

けやき情報版

京都市図書館は今年も
 休館日を
 クールスポットとして開放

京都市図書館では、この夏も休館日も開館し図書の間覧ができる「クールスポット開放」を実施。4月から水曜日は全て開館となったため、今年の開放日は、7/22、29、8/5の火曜日 午前10時~午後5時館内で図書を閲覧できる。
 貸出等の通常業務は行われない。

アフリカを読む、知る、楽しむ、
 絵本原画と子どもの本展

日時:10月8日(水)~12日(日)
 10:30~17:00(12日は~15:00)

場所:京都市国際交流会館2階
 姉妹都市コーナー展示室

(イベントは堺町画廊でも開催)

アフリカ子どもの本プロジェクトの推薦本約150冊と絵本原画、写真パネルなどを展示。アフリカの民族楽器のコンサートやさくまゆみこさんを始め多彩な講師のアフリカについての講演会、おはなし会など、イベントも。

(詳細はチラシ参照)

主催:アフリカ子どもの本プロジェクト・京都市子ども文庫連絡会

問合せ:
 kyotoshikorenn@yahoo.co.jp

編集後記

▽十一年前、今号冒頭で紹介した大阪府茨木市の「図書館友の会」の福山さんをお迎えし、市民が図書館を学ぶことの大切さを学ばせていただきました。久しぶりにこの時の報告を読みました。今号と併せて「図書館の友だちになる」ことについて思いを新たに。けやきホームページでバックナンバーをご覧頂けるようにさせていただきます。けやき13号の掲載しています。けやき13号の秋、アフリカ子どもの本プロジェクトの十周年記念事業を、所属している京都市子ども文庫連絡会が共催で行うことになった。(けやき情報版参照)左京図書館でもミニ企画が進行中。ぜひご覧下さい。けやき十五周年の年に益々大忙し

◇けやき

第45号 2014年7月23日

◇制作 図書館友の会 けやき ニュースレター編集部
 題字:高野のYさん タイトルバック:岩倉のSさん カット:高野のHさん

◇発行 図書館友の会 けやき

京都市左京区高野東開町1-23-26-101永井方
 TEL/FAX 075-721-2625
<http://www.keyaki-kyotocity.com>